

Annual Report

April 2024 - March 2025

初年度の取り組み
核なき世界を日本から！

1 発足シンポジウム



2024年4月20日、発足記念シンポジウムを東京・明治学院大学で開催し、140人が集まりました。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが講演し「核の脅しは、どこにあって、誰に対しても許されない」と訴えました。

2 広島・長崎でのイベント



広島では「核兵器をなくすフェス！」(2024年6月23日)を、長崎では「核兵器をなくすために長崎からできること」(6月22日、8月3日)を開催しました。太平洋の核実験被害者らの広島・長崎訪問をコーディネートしました(2025年2月11～12日)。

3 政府への働きかけ



2024年7月9日にNPT準備委員会に先立ち、2025年2月26日には核兵器禁止条約第3回再検討会議に先立ち、外務省と核兵器廃絶日本NGO連絡会の意見交換会を行いました。日本キャンペーンは同連絡会の事務局を担っています。

4 専門家との協力・提言



日本政府が主催する「核兵器のない世界」に向けた国際賢人会議の会合でNGOとして意見表明しました(2024年5月21日)。国際政治や国際法の専門家と長崎で「核兵器禁止条約フォーラム」を開催しました(8月9日)。

5 NPT準備委員会



核不拡散条約(NPT)再検討会議第2回準備委員会(ジュネーブ)に参加し、現地から毎日、中継番組を行いました(2024年7月22～26日)。NGO、専門家、政府関係者らが参加しました。事前にはメディア向けブリーフィングを行いました。

6 国会議員討論会



2024年8月5日に広島で国会議員討論会「核兵器廃絶に向けた日本の役割～核の非人道性を想起して～」を開催し、与野党9党の代表や、中満泉国連事務次長が参加しました。日本の核兵器禁止条約締約国会議への参加を議論しました。

7 イベント・講演・出演



「オッペンハイマーを語り尽くす」(2024年4月)、「核と気候の危機を考える」(8月)、「虎に翼を語り尽くす」(9月、10月)、「平和・核廃絶フォーラム」(9月)「核廃絶国際デー記念シンポジウム」(9月)、「カザフスタン渡航報告」(10月)、「核禁条約発効4周年記念」(2025年1月)など諸団体と協力して多数実施しました。

8 ノーベル平和賞授賞式のオスロヘ



2024年12月、日本被団協へのノーベル平和賞授賞式に合わせて事務局スタッフを「応援ツアー」に派遣しました。被爆者を含む渡航者のサポートにあたりと同時に、2日間にわたり現地から日本への中継番組を行いました。

9 被爆80年 核兵器をなくす国際市民フォーラム



2025年2月8～9日、東京・聖心女子大学で開催した国際市民フォーラムには600人以上が来場し、300人がオンライン参加しました。全体会のほか、約30の分科会や展示が行われ、核兵器禁止条約第3回締約国会議への提言書も作られました。各国の駐日大使も参加、終了翌日には国会議員討論会を行いました。

10 核兵器禁止条約第3回締約国会議



2025年3月3～7日にニューヨークで開かれた締約国会議にスタッフを派遣しました。日本政府は不参加でしたが、与野党から6名の国会議員が参加。キャンペーンとして国会議員の活動をサポートしました。また日本市民からの提言を公表し、現地から毎日中継を行いました。

11 Hibakusha Dialogue



2024年11月から、被爆者とユースが対話し「核兵器のない世界」について語り合うイベントHibakusha Dialogueを行っています(京都、神戸、東京などで開催)。あなたの街でも開催しませんか。

12 ボランティア・Youthネットワーク



ボランティアが毎月オンラインでミーティングし、キャンペーンの活動を支援しています。また、Youthネットワーク(原則25歳以下)も立ち上がり、情報交換や企画準備をしています。参加大歓迎です!

核兵器をなくす
JAPAN CAMPAIGN TO ABOLISH NUCLEAR WEAPONS
日本キャンペーン

✉ info@nuclearabolitionjpn.com

🌐 nuclearabolitionjpn.com



📷 Instagram ✕ X (Twitter) 📘 Facebook 🦋 Bluesky 📺 YouTube